

入院糖尿病患者における超速効型インスリン製剤食直後投与の検討

1. 本研究の概要

入院中の糖尿病患者さんが、食事の終わったすぐ後に超速効型インスリンを投与した際の製剤の違いが血糖コントロールに与える影響について明らかにすることを目的にしております

2. 研究機関の名称及び研究責任者の氏名

[研究機関]：NTT 東日本札幌病院

[研究責任者]：永井 聡

[研究の方法]：

- 対象の患者さん：2020年7月1日から2021年6月30日までに当院へ入院し、糖尿病内分泌内科で入院中の血糖管理を行った1型糖尿病を除く糖尿病患者さんで、2日間以上、食事量に合わせて食事の終わったすぐ後に超速効型インスリンを用いて血糖コントロールを行った方
- 利用するカルテ情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、罹病期間、既往症、入院診療科、入院の理由となった疾患、処方薬剤、主要な検査データ、使用したインスリン製剤とその単位、食事量、その後の血糖コントロール状況、低血糖の発生、入院期間、入院中の合併症

3. 研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できる旨（他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られる旨を含む。）並びにその入手・閲覧の方法

この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外で、資料のご提供や閲覧をしていただくことができます。研究全体の成果につきましては、ご希望があればお知らせいたします。いずれの場合も担当医師にお申し出ください。

4. 個人情報の取り扱いについて

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理され、研究事務局に提出されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

また、この研究が正しく行われているかどうかを確認するために、自主臨床研究審査委員会や研究代表者から指名された品質管理の担当者(研究で得られたデータが正確なものであるかどうかを確認する者)などが、あなたのカルテや研究の記録などを見ることがあります。このような場合でも、これらの関係者には、記録内容を外部に漏らさないことが法律などで義務付けられているため、あなたの個人情報を守られています。

この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前などの個人情報に関することが外部に漏れることは一切ありません。

5. 研究実施期間

病院長による許可日～2022年5月31日

6. お問い合わせ

NTT東日本札幌病院

研究責任医師 永井 聡(糖尿病内分泌内科 部長)

〒060-0061 札幌市中央区南1条西15丁目

011-623-7000(代表)